

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、付属 microSDHC カード内の専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

アドバイス

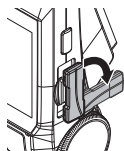
- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨
メモリー: 4GB 以上を推奨
画像解像度: FWXGA (1366 × 768 ピクセル) 以上を推奨
- ※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しないことがあります。
- ・ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードすることもできます。また、パソコンの OS アップデートにより microSDHC カード内のビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・ビューワソフトをダウンロードできない環境の場合、microSDHC カード内のビューワソフトを保存しておくことをおすすめします。

映像を再生する

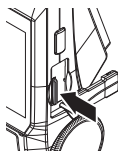
- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P62 を参考に取出してください。

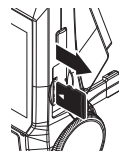
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ・ **アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューワソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画(破損データ)を削除してください。**



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

映像を見る

2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



⚠ 注意

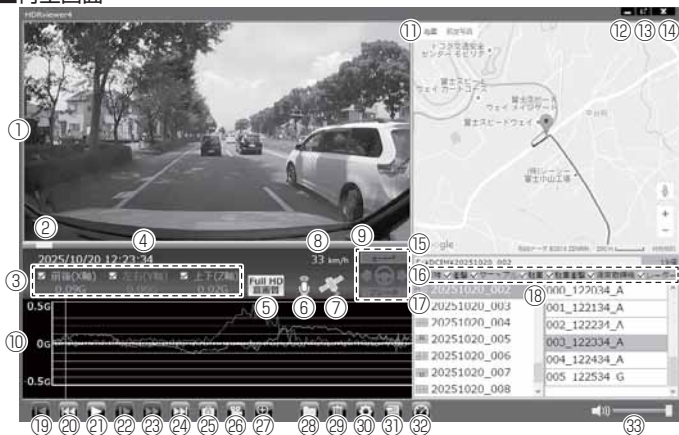
- microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。データが正常に読み取れなくなるとビューワソフトが起動しなくなります。

3) microSDHC カード内のビューワソフトを起動し、再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。



HDRviewer4.exe
HDRviewer4.exe
COMTEC

■再生画面



🖱️ アドバイス

- ・ビューワソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。
- ・映像の再生中に microSDHC カードをパソコンから取り出すとビューワソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューワソフトを終了させてから microSDHC カードの取り出しを行ってください。

①	撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑰ 録画データのフォルダリストおよび各フォルダに記録されている映像種類をアイコンで表示 (⇒ P38) ⑱ 録画データのファイルリストを表示
②	現在の再生位置を表示	⑲ 【先頭】 ボタン 現在再生中の動画の最初に戻る
③	加速度を数値で表示。 またチェックボックスの ON/OFF で加速度グラフへの表示 / 非表示を選択	⑳ 【前】 ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る
④	再生データの録画日時を表示	㉑ 【再生 / 一時停止】 ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる
⑤	録画サイズおよび画質の設定内容を表示	㉒ 【スロー】 ボタン 再生速度を 1/2 にする ※早送りボタンで通常再生に戻ります
⑥	録画データの録音設定内容を表示	㉓ 【早送り】 ボタン 早送り再生を行う ※再度押すと 2 倍速から 4 倍速に切替えスロー再生で通常再生に戻ります
⑦	GPS の受信状態を表示	㉔ 【次】 ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む
⑧	自車の走行速度を表示	㉕ 【静止画】 ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみ保存する
⑨	車両情報を表示 (⇒ P43) (ブレーキ・ハンドル舵角・ウインカー) ※対応の OBD II アダプターで接続したレーダー探知機と相互通信時のみ	㉖ 【動画】 ボタン 選択した録画データを結合し、1 つのファイルとして保存する
⑩	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.... 前後の加速度 (X 軸) 赤線.... 左右の加速度 (Y 軸) 紫線.... 上下の加速度 (Z 軸) 【G】.... 衝撃を検出した場所 【M】.... スイッチ操作を検出した場所 【P】.... 駐車監視中に衝撃を検出した場所 【O】.... 自動速度取締機を検出した場所※ 1 【R】.... レーダー波警報を検出した場所※ 1 【▲】.... 急加速を検出した場所 【▼】.... 急減速を検出した場所 【★】.... 急ハンドルを検出した場所 【※】.... 緊急録画停止を検出した場所 ※車速アラーム設定で選択した速度を超過した区間を赤に色付け	㉗ 【拡大】 ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を 2 倍または 3 倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する
		㉘ 【参照】 ボタン 録画データの参照先を変更する
		㉙ 【削除】 ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する
		㉚ 【設定】 ボタン ビューソフトの表示設定およびバージョン情報の表示を行う
		㉛ 【CSV】 ボタン 録画データをリスト化し、CSV 形式で出力する (⇒ P38)
		㉜ 車両情報を表示 (⇒ P43) ※ OBD II アダプターで接続したレーダー探知機と相互通信時のみ
		㉝ ビューソフトの音量を変更する
		㉞
		㉟
		㊀
⑪	Google マップを表示 ※ GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示	
⑫	最小化ボタン	
⑬	映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の 3 段階)	
⑭	ビューソフトを終了する	
⑮	現在表示しているフォルダの場所を表示	
⑯	各映像種類のチェックボックスの ON/OFF で、ファイルリストへの表示 / 非表示を選択	

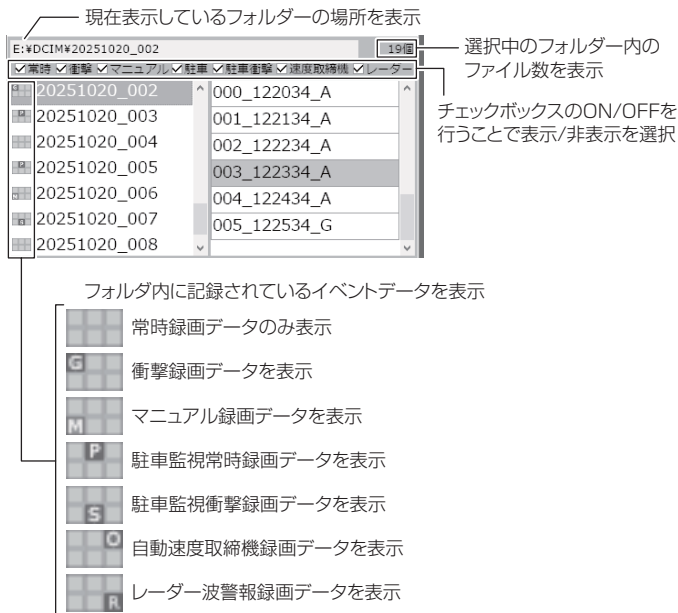
※ 1 相互通信接続をした場合は P67 の検出アイコンについてを参照

映像を見る

録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

■ファイルエリア



CSV 出力について

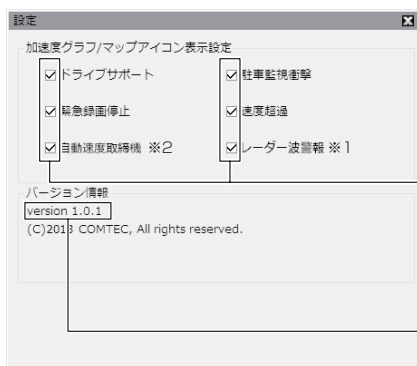
録画データの [ファイル名 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / 録画サイズ / 画質 / フレームレート / データサイズ] をリスト化して CSV 形式で出力します。

表示設定について

- 1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押します。



- 2) [ドライブサポート / 緊急録画停止 / 駐車監視衝撃 / 速度超過 / 自動速度取締機 / レーダー波警報] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへの表示または非表示にすることができます。



チェックボックスのON/OFF

- ※1 対応のレーダー探知機と相互通信接続した場合のみ
- ※2 ZERO702V / ZERO802V / ZERO802M / ZERO703V / ZERO803Vと相互通信接続した場合は非表示となります。

現在のバージョン

映像を見る

パソコンで録画データを保存 / 削除する

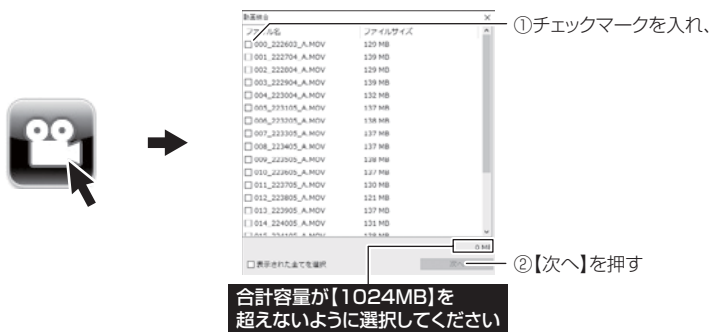
ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

録画データを連結して保存する

- ・本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。
 - ・動画の連結は連続したデータのみ保存する事ができます。
 - ・最大で1GB(1024MB)まで連結することができます。ただし1GB以内でも、100ファイルを超えて連結することはできません。
- ※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

1) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



2) 動画を保存するフォルダーを指定し、【保存】を押す。



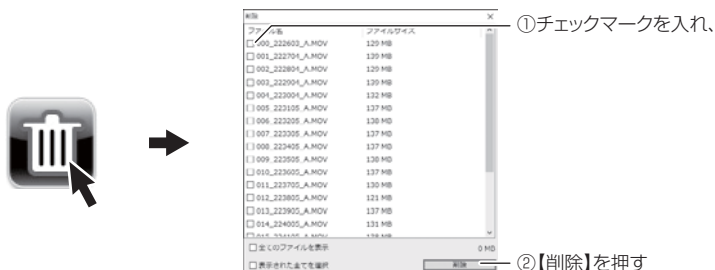
録画データを静止画で保存する

- 1) ビューソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。



録画データを削除する

- 1) ビューソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



映像を見る

地図表示について

- Google マップはインターネット接続時および位置情報がある場合に表示されます。
 - 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル検出・ドライブサポート・緊急録画停止検出・速度超過検出・自動速度取締機検出※1・レーダー波警報検出※1の位置が表示されます。
 - 表示設定(⇒P37-㊸、P39)でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。
- ※1 相互通信接続をした場合は P67 の検出アイコンについてを参照

- GPSの受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- WindowsのアップデートやGoogle マップの仕様変更などにより、付属のビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューソフトをダウンロードしてご使用ください。※変更内容により対応できない場合があります。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出 アイコン		マニュアル録画 検出アイコン		速度超過 検出アイコン
	急加速アイコン (ドライブサポート)		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)		急ハンドルアイコン (ドライブサポート)
	緊急録画停止 検出アイコン		自動速度取締機 検出アイコン		レーダー波警報 検出アイコン

👉 アドバイス

- ・ 地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ・ ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

車両情報について

ビューワソフトの上にて車両情報（フットブレーキ、ウインカー、ハンドル舵角）をアイコン表示することができます。

※ OBD II アダプター「OBD II -R3」とレーダー探知機「ZERO 704V」または「ZERO 705V」「ZERO 805V」を相互通信接続時のみ表示できます。表示車両につきましては OBD II アダプター車種別適合表のステータスマニターをご確認ください。ただし、一部車両で表示できる項目が異なり表示できない場合があります。



例) フットブレーキ・ハンドル右操作・ウインカー右操作

車両情報を表示する

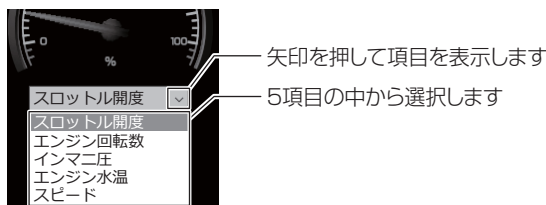
ビューワソフトの【車両情報】ボタンを押すことで車両情報をメーターで表示することができます。

※ OBD II アダプターで接続したレーダー探知機と相互通信時のみ。(⇒ P67)

- 1) ビューワソフトの【車両情報】ボタンを押す。



- 2) 表示項目を変更する。



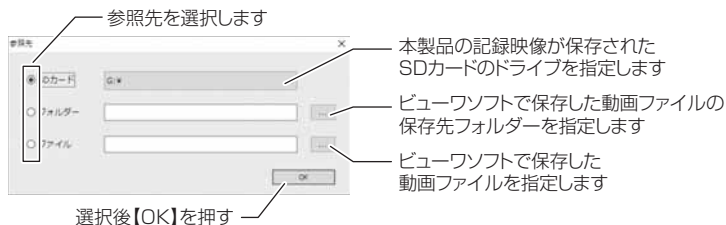
映像を見る

保存ファイルを開く

- 1) ビューソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見ることができます。



アドバイス

パソコンに保存したデータ（MOV ファイル）を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化した microSDHC カードのみ、【SD カード】を選択して SD カードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

- ・弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。